

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103961
法人名	有限会社 やわらぎ
事業所名	グループホームやわらぎ
所在地	松山市枝松6丁目7-12
自己評価作成日	平成21年10月6日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年10月20日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

食事に力をいれており、季節の物をいち早く取り入れ季節を感じてもらっている。又、月に1回お弁当の日を作り手作りのお弁当を作っている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用者個々に担当の職員が決まっており、ご本人とのコミュニケーションの時間を多くして聞き取るようにされている。言葉で表現することがむづかしいような方は、表情や態度に注意して思いの把握に努めておられる。「言葉でなくても寄り添っているだけで思いが伝わってくることもあるよ」と先輩から教えてもらった、と言われる若い職員の方もあった。

お風呂がお好きな方は毎日入る方もある。入浴を嫌がられる方には入浴剤を使い「今日はいいい香りですよ」と声をかけたり、タイミングをみて誘ったり、「入浴予約表」を事前にお渡ししておいて、気持ちの準備をしてもらう等、工夫をされている。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 有限会社 やわらぎ

(ユニット名) グループホーム やわらぎ(1階)

記入者(管理者)

氏名 白井 典子

評価完了日

平成21年10月6日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 事務所に掲示し日々確認しながら仕事に取り組んでいる。又、年間理念をスタッフで話し合い作成している。	
			(外部評価) 今年度、ユニットごとに職員で話し合い独自の理念を作成されており、事務室や玄関に掲示されていた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 日々の挨拶や気軽に立ち寄って頂ける様に入出りを自由にしている。又、町内会に加入し、祭りや市民大清掃に参加したりし当ホームの夏祭りにも参加」してもらっている。	
			(外部評価) 年に1回程度、小学生がお手紙や千羽鶴を持って訪問してくれており、利用者と一緒に歌を歌ったり折り紙をして一緒に楽しまれている。駐車場でいう事業所主催の夏祭りには、城南高校のボランティアの方達がお手伝いに来てくれている。	
		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 夏祭り等に参加して交流の場を設けたり、認知症に関する資料を作成し配布したりしている。	管理者は、地域の方々に「認知症をさらに知っていただけるような会」の機会を作りたいと考えておられる。近隣住宅のお若い世代のご家族も事業所で行う夏祭りへ参加して下さっており、さらに理解や関係を深めていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み                      運営推進会議では、利用者やサービスの実                      際、評価への取り組み状況等について報告                      や話し合いを行い、そこでの意見をサービ                      ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2か月に1回開催し、情報・意見交換など行っ                      ている。その内容を、ミーティングで話し                      合いサービスの向上に活かしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議には、近隣のグループホーム                      の方が参加してくださっている。会議時、                      事業所の取り組みを報告して意見をお聞                      きしたり、「認知症の方との関わり方につ                      いて」等、認知症の勉強会もされた。地                      域の方から情報を教えてもらって、今                      年からお正月に「獅子舞」が事業所に                      来てもらえるようになり、利用者にたい                      へん喜ばれている。</p>	<p>管理者は、会議参加について「町内会                      長さん達にも再度声をかけ、参加を呼                      びかけたい」と話しておられた。又、                      ご家族の参加等も増やし、いろいろな立                      場のご意見をいただけるよう、取り組                      みをすすめていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携                      市町村担当者と日頃から連絡を密に取り                      、事業所の実情やケアサービスの取組み                      を積極的に伝えながら、協力関係を築く                      ように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>連絡会があり、随時参加している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議に出席していただき、事                      業所の取り組みについて意見や感想を                      お聞きしたり、生活保護受給者の利用                      者の相談や、書類の作成についてアド                      バイスしてもらっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践                      代表者及び全ての職員が「指定基準に                      おける禁止の対象となる具体的な行為」                      を正しく理解しており、玄関の施錠を                      含めて身体拘束をしないケアに取り組                      んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>大まかな拘束内容をスタッフは把握して                      おり、現在も拘束はない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、玄関やテラスへは自由                      に出入りできるように開放されており、                      庭の花の水遣りに出られる利用者の                      様子も見られた。カンファレンス時                      には、言葉や態度等についても、拘束                      になるようなことがないか職員間で                      話し合っておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  関連資料を事務所掲示し、スタッフは日々確認しながら仕事に取り組んでいる。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  以前に参加した内容をファイリングし活用できる様にしているが、現在のところは該当者なし。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  事前に見学に来てもらい、ご本人・ご家族と面談を行いその際に十分な説明をし納得した上で入居を決めて頂く様にしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  利用者さんとは話す場を設け、苦情等があった場合はスタッフ会で話し合いケアに活かす様にしている。又推進会議にも参加してもらい発言の場を設けている。  (外部評価)  職員は、ご家族の来訪時や夏祭り、クリスマス会等の行事の後にはご家族に声かけして、ご意見をうかがうようにされている。ご家族からは「昼間はなるべく起こしておいてほしい」というご意見もあり、介護計画に採り入れて取り組まれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に1度のリーダー会とスタッフ会を実施し、意見交換を行っている。	
			(外部評価) ユニットのリーダーは「相手の立場に立って考えること」を大切に、職員の相談や意見等にアドバイスをされている。利用者が布団を干す場所等について、利用者同士のトラブルを避けるために「利用者に分かりやすい順番表」を作られた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 努力や実績を把握・考慮した上で、昇格・昇給等を行っている。又、月行事を分担し計画・実施をしている。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所内で研修を行ったり、介護福祉士を中心に実技研修を計画中。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 他のホームの推進会議や行事に参加したりしている。又、災害時の受け入れ等についても協力し合える様に話し合っている。	
			(外部評価)	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前にカンファレンスを行い、その際出来るだけ希望・要望を聞き対応するようにしている。	
			(外部評価)	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	事前にカンファレンスを行い、その際に出来るだけ希望・要望を聞き対応するようにしている。
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	カンファレンス時に、必要支援を把握しスタッフ全員で話し合い出来る限り対応に努めている。
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	家事全般・家庭菜園などを一緒に行い、その都度色々教えてもらいながら一緒に体感・体験する様にしている。
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	心身の状況・日々の出来事をその都度報告し、意見交換を行っている。又、月に一度ホーム便りと手紙を郵送したり行事にも参加してもらっている。
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	いつでも来訪して頂ける様に、出入りを自由に行っている。現在でも、月に数回知人の方の来訪などあり。
			(外部評価)	事業所の近くに住む利用者のお友達が、居室の仏壇に供える「しきび」をいつも届けて下さっている。職員は、お友達に、ご本人に代わって感謝の気持ちをお伝えしたり、「また来てくださいね」という言葉も添えておられる。

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 一人一人の性格を把握した上で、レクや映画鑑賞を有効に活用したりスタッフが間に入り、コミュニケーションが取りやすくなる様に心がけている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) ホーム便りを送ったり、いつでも来て頂ける様に出入りを自由に行っている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 各自に担当スタッフを配置し、希望・要望が聞ける様な環境を確保している。昔馴染みの場所に担当者を出掛けたりもしている。 (外部評価) 利用者個々に担当の職員が決まっており、ご本人とのコミュニケーションの時間を多くして聞き取るようにされている。言葉で表現することがむづかしいような方は、表情や態度に注意して思いの把握に努めておられる。「言葉でなくても寄り添っているだけで思いが伝わってくることもあるよ」と先輩から教えてもらった、と言われる若い職員の方もあった。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前にアセスメントシートで情報収集を行い、経験や得意分野でを活かしたケアを行っている。(生け花、習字)	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日のバイタル測定、日中の関わりの中で心身の様子を観察しながら接し介護記録に細かく記入している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>担当者がプランを計画・作成しリーダーとモニタリングをした後、カンファレンスで全員で話し合い相互の意見交換などを行っている。家族には、月の評価を報告し意見交換を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者個々の担当職員が、個々の思いやご家族の希望等を取り入れながら介護計画を作成されている。毎月モニタリングを行い、3ヶ月ごとに介護計画の見直しをされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別にケアプランチェック表を作成し、日々の変化などを個人記録に記入しカンファレンス会で話し合い介護計画等に繋げている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>系列事業所と情報交換・連携を取り必要に応じて活用している。又、利用者の希望で、行きつけの理髪・美容室に行ったりもしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>必要に応じて、要請・協力をしてもらっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 内科・歯科と連携を図り、気軽に相談でき治療が受け られる体制を取っている。内科に関しては、定期検査 なども行ったり24時間対応の連携体制も取れてい る。	
			(外部評価) ご本人ご家族が希望するかかりつけ医で受診していた だくようになっている。週1回定期的に協力医の訪問 があり、希望者や必要に応じて診てもらっている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 看護職員を配置していない為、かかりつけ医・看護婦 と連携を取り合う体制が出来ている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時には、定期的にスタッフが面会に行きその際に 医師・看護婦と意見・情報交換を行い必要に応じてカン ファレンス等を行っている。又、かかりつけ医と入 院病院との情報交換等の連携体制も図れている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 現状的には、実施経験はないが対応方針は決めており 事前にご家族・本人からの要望等を聞いている。(書 面に残している)又、かかりつけ医とも話し合っており、 医師の意向も家族に報告している。	
			(外部評価) ご本人ご家族は、以前から「事業所で終末期を迎えたい」 という希望があり、最近、ご家族とともに職員で 手を握ったり、顔をお拭きしたりして職員は「心を こめて」看取られた。ご家族もよく来訪され、又、ご 家族とも連絡しあい、密に体調等、様子をやり取りさ れた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			完璧とまではいかないが、対応マニュアルを作成したり消防訓練などで実施している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			最低年に2回実施する様にしており、いざという時は、近隣の方が協力してくれる体制が取れている。又、近隣のホームと災害時の緊急協力の連携体制が取れている。	
			(外部評価)	
			職員は、日頃から火の元に注意されている。近期中に、消防署の指導を受けながら、避難訓練を実施する予定となっている。消火器の使い方等についても体験することになっている。	管理者は、2階で車椅子を利用している利用者の避難について不安を感じる点も持っておられる。避難訓練時、消防署のアドバイス等をいただきながら、全利用者、職員が安全に避難できるような方法を検討していきたいしてほしい。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			プライバシーに関する申し送りなどは、イニシャルで行いトイレ声掛けなどにも配慮する様にしている。	
			(外部評価)	
			職員は、居室を訪問する時、ノック・声かけを心がけておられる。更衣のお手伝いをする時も、ドアを閉めて行うようにされている。調査訪問時、職員が歯磨きをされている利用者に寄り添い、やさしく見守りスムーズに行えるようサポートされていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			外出・買い物などは、声掛けは行うが本人の意思に任している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 食事・入浴・起床・就寝に関しては、本人のペースで行ってもらっている。時には、スタッフペースになっているのも現状。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 更衣時は、本人に好きな物を選んでもらっている。又、本人希望の理髪・美容室に行ったりもしている。洋服購入時は、本人に好きな物を選んでもらい購入している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理に関しては、能力に応じ参加してもらっている。買い物に行った際は、意見・要望を聞き一緒に選んだりしている。献立も利用者の意見も取り入れながら作成している。 (外部評価) 調査訪問時、利用者が「味はどう？」等と職員や他の利用者に五目寿司の味見をお願いしながら、職員と昼食の準備をされていた。利用者の希望でご飯・煮物等も柔らかくされている。一人ひとりの状態に合わせて刻み・ミキサー食等も支援されている。「自分で食べたい」というご本人の気持ちを大切に、介護用のスプーンでゆっくり食事をされている方を、職員はそばで見守りながら支援されていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 各自の状態を把握した上で、大きさや固さ飲み物の種類などを変えている。又、食事量・水分量を個別に記録して対応している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の歯磨き・うがいを声掛け誘導する様にしている。就寝前には、義歯を預かり消毒する様にしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄チェック表を作成し、一人ひとりの排泄パターン・サインを把握し声掛け・誘導を行っている。	
			(外部評価)	
			ほとんどの方が紙パンツを使われているが、出来る限りトイレで排泄できるよう、職員は声かけや誘導をしておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			基本的には、自然排便を心がけている。牛乳・ヨーグルト・プルーンを摂取してもらったり下剤使用の回数を減らす様になっている。	
			(外部評価)	
			入浴日は決めていないが、定期的な声掛け・誘導を行っている。自立している人に関しては、本人の希望する時間などに入浴してもらっている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			お風呂がお好きな方は毎日入る方もある。入浴を嫌がられる方には入浴剤を使い「今日はいい香りですよ」と声をかけたり、タイミングをみて誘ったり、「入浴予約表」を事前にお渡ししておいて、気持ちの準備をしてもらう等、工夫をされている。	
			(外部評価)	
			基本的には、起床・就寝時間は決めておらず本人の希望に合している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個別に処方箋をファイリングし、症状の変化時には医師に連絡し支持をもらい対応している。又、服薬変更に関しては別にノートを作り記録し申し送りで情報交換している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 生活歴を把握した上で、個々の得意分野に応じて役割作りをし、実施・支援している。(庭いじり・畑作業・カメの世話・家事への参加など)	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 当日に言われても対応できる様にしている。季節に応じての外出も行っている。スタッフだけで対応出来ない場合は、ご家族にも協力して実施している。	
			(外部評価) お花や野菜の水遣りや、近くの商店にお菓子等を買に行かれる方もある。又、天候等によって近くの公園までの散歩されたり、事業所で飼っている犬の散歩に職員と行かれることもある。時には、外食やドライブに出かけている。	現在、2階の利用者で昇降機を使って上がり降りをされている方は、職員の人手等のこともあり、外に出る機会が限られているようである。ユニット間やご家族、地域の協力等、いろいろな方のアイデアや協力をいただきながら、利用者が外出したり外に出て過ごせるような機会を作っていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 管理出来る方には、お小遣いを所持してもらっている。自分で管理出来ない方には、自分用の財布を持ってもらい外出・買い物時にはその財布から自分で支払う様に支援している。大半は、ホームで管理している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 基本的には、自由に電話などは出来る様な体制を取っている。かける事の出来ない方に関しては、スタッフが代行して行う事もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共有スペースには、手作りのカレンダーや利用者さんが書いてくれた習字などを掲示したりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関前・靴箱の前・テラス・庭等、各箇所にベンチが置かれており、利用者がちょっと一休みできるようになっている。玄関には金木犀と利用者が活けた菊の花が飾られていた。トイレのトラブルを避けるために使用時には「はいってます」という手作りのカードをかけるようになっていた。事業所の外で飼っている犬（さくら）に餌をやる方もある。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ホールのソファは、定期的に位置を変えたり自由に座ってもらっている。玄関付近に椅子を置き利用者同士が自由に談話出来る様にしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入居時に、馴染みの物や使い慣れた物を持参してもらっている。物の位置を変える時は、本人とご家族に相談して行う様にしている。（タンスや仏壇、ご自分で書かれた習字などを持参されている方などもある）</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室入り口の暖簾に、ご自分の名前を大きく刺繍されている方もある。壁には、ご家族の写真や職員から贈られた誕生カードを飾っておられたり、仏壇や馴染みの筆筒を持ち込まれている方、化粧道具を揃えておられる方もある。ご自分の作品（習字）を壁いっぱい貼っておられる方もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>自室の入口には、各自表札を掛けている。又、廊下のですりの高さを変更したり、トイレや浴室のてすりも増やしたりして対応している。外階段には、昇降機を設置し身体機能が低下しても対応出来る様にしている。</p>	